

メータオ・クリニック支援の会（JAM）

会報メール 第122号

〔2020年10月発行号〕

NPO法人メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。

JAM 会報メール第122号をお送りします。

JAM は2008年3月に発足されたNGOです。ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へJAMの最新の活動を2カ月に一度、会報メールにて発信しております。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

<目次> [ページ]

サラヤ タイ様よりアルコール製剤の寄付をいただきました

国際保健医療協力の中で (46)

国内から

編集後記

次号の予定



Saraya International (Thailand) Co.,Ltd. 様より、
メータオ・クリニックへアルコール製剤の寄付を頂きました！

10/1にサラヤタイ様よりメータオ・クリニックへ、手指消毒用と環境用のアルコール製剤をそれぞれ約100L、ご寄付いただきました。これはクリニックの1ヶ月分の使用量に当たり、さらに今後計500Lまでのご寄付をいただけるとのことで、心強い限りです。

JAMはクリニックの資金調達担当者キムソンミンさんへの連絡のお手伝いを少しさせていただきました。ソンミンさんから、サラヤタイ様に心から感謝いたしますとの言葉をいただきました（日本語堪能な方です）。



サラヤタイ様からは以前も、手指消毒チェッカーをメータオ・クリニックへ導入させて頂きました。今もメータオ・クリニックでは、スタッフや患者様、移民学校のこどもたちへの手洗い教育に活用しています。

私（神谷）が以前勤めていた病院でもサラヤ様の手指消毒ジェルを使用していましたが、肌なじみがよくて皮膚に優しいので、使えば使うほど手が潤っていたのを思い出します。今回寄付頂いた手指消毒剤はメータオ・クリニックでも喜ばれているのではないかと思います。

サラヤタイの松本様にはいつもメータオ・クリニックの事を気にかけていただき、心より感謝申し上げます。
(神谷友子、有高奈々絵)





国際保健医療協力の中で (46)

【小林 潤】

ミャンマーで新型コロナウイルス感染症陽性者数の急激な上昇が報告されている。この感染症は人口密度の高い都市部に深刻なダメージを与える。ミャンマーでもヤンゴン、マンダレー等の都市に厳しい外出制限をかけている。さらに、また都市への、からの人の動きを止めるロックダウンも行っているとの話もある。医療システムが脆弱な後発途上国では、他に効果的な打つ手が現在ではないといえ、多くの国が取り組んでいる。

ミャンマーは民主化が成功して以来、都市部への急激な投資と開発がすすんできた。ヤンゴンのホテルの宿泊費が5倍にも値上がりし、わかってはいたけれどあまりの急激なインフレーションを目のあたりにし、開発のやり方に疑問を感じたのはもう何年も前のことである。この急成長した都市に、今から起こり得ることは、投資や開発によって恩恵を得た富裕層への打撃ではなく、多少の恩恵を得た中間層、また全く得られなかった都市部の貧困層に打撃を加えるであろうことだ。

日本においても社会的弱者への打撃が大きな問題になっている。さらに公的支援の悪用などの報道が見立ち、本当に民度が高いのか疑問に思った。時にはそこまで追い込まれている人がいるのかとも先行きが不安になった。在日の外国人の多くは真っ先に職の機会を奪われた。しかし、完全ではないが市民団体の救済の動きも日本社会では動いており、互助の考えはやはり多くの日本人からまだ消え去っていないと実感して嬉しく思った。

日本も政府開発援助（ODA）を再開し、新型コロナ対策関連の案件が多く開始されることになっている。今やるべきことは直接の医療支援ではないだろう。医療崩壊を起こさないための病院での院内感染対策や、医療スタッフの生活の質の確保、感染していない人への啓発活動、経済的打撃をうける中間層貧困層支援をする市民団体への支援。ワクチンや治療薬の開発でなくても日本ができること、やるべきことはある。限りのある資金をどう利用するかが問われるだろう。

国内から

【上田 敦子】

日本に帰国してもう7年が過ぎました。なので、ささやかながらですが、JAMで経理などのお手伝いをはじめてから、そのくらいの年月が過ぎてしまったということになります。私事ではあるのですが、最近、祖母を亡くしました。今日はその体験から、メータオにいた時のことを思い出して、ご紹介したいと思います。

祖母は滋賀県で生まれ育ち、比叡山ふもとの坂本という場所で暮らしていました。認知症を患い初めたのが7年前くらいで、今年の9月、97歳で永眠しました。大正の時代に生まれて、戦争を生き抜き、女性でもしっかりと働いたりして、頼もしい祖母でした。とても充実した良い人生だったと思います。そして何よりも、このように安らかに世を去ることができて、本当に良かったと思いました。遺族としては、コロナ禍という中でひそやかな家族葬に留めましたが、通夜、告別式、火葬、納骨、続けて初七日までも、つつがなくおこなわせてさせていただきました。「人をひとり送り出すということは、大変なことだなあ」と父が申しておりましたが、本当にそうだなと実感するほど、普通ですが目まぐるしい忌引きの数日でした。

そんな中ふと思い出したのが、メータオ・クリニックで経理のお仕事を始めた最初の頃のことでした。内科の経理清算をしていた時に「葬式代、火葬代、運賃代」がかなり高額な出費であることに気づきました。その時初めて説明されたのは、あまりにも重症になってから訪れてくる患者様とその家族のこと。亡くなってしまわれて、お葬式もできない、火葬してもらえないお寺もない、しまいには家に帰るためのお金もない。。そのようなご家族のお世話に一番良く携わっていたのが、内科でした。

内科のマネジャーに言われたことがあります。「これが僕らの現実だけれど、産婦人科とか小児科とかトレーニングとかに比べると、どうしても見劣りしてしまう」と。確かに、妊婦さんのためとか、子どもたちのためとか、将来の医療従事者のために、とかだと、それなりの「ロマン」があって、支援がしやすい、というのはあるかと思います。でも良く考えてみると、「送り出す」ことの重要性、人の尊厳を最後まで守る、そういったことも、とても支援のしがいのあることだな、と思った記憶があります。



祖母を亡くしてみて改めて感じたこと、それは、「人を送り出すこと」への社会的貢献がいかに尊いものかということでした。幸い自分の親族の場合は心配することもなく恵まれています。時折、このための支援を応援したいな、と願う今日この頃です。

(←滋賀の火葬場から見えた山々)

編集後記

ミャンマーの少数民族が暮らす地域には、まだ政府の保健サービスが行き届かない僻地がかなりあります。電気も水も通信手段もなく、言葉も文化も違う場所に、政府の保健スタッフはなかなか居付かないのです。その場合、少数民族の機関が独自にもっている医療部門（通称 EHO: Ethnic Health Organization）のスタッフが診療やケアをすることが多くあります。

先日、ミャンマーで最も小さな州であるカヤー州（カレン州の北隣）の EHO の方と話す機会がありました。ここではいくつものカレン族 EHO が各グループの垣根を超え、1つのネットワークをつくり、政府（保健省）と役割分担して活動しているそうです。なんと、このネットワークの設立のために、対立していた政府と少数民族勢力が、州レベルでの停戦に合意したのだそう。保健医療を通して「平和」という難題を達成する、そんな方法もあるのですね。

ちなみにこの EHO ネットワークの医療者の多くは、メータオ・クリニックで研修を受けたのだそうです。誇らしげに自身の活動を語るスタッフに、じーんとしてしまいました。

次号の予定

次号は、12月中～下旬ごろ配信の予定です。

現地からの最新情報は、インスタ、ツイッター、ホームページでも、随時更新していきますのでぜひ、お時間があるときにご覧ください。

メータオ・クリニック支援の会(JAM)の活動を支援して下さり、心より御礼を申し上げます。JAMの活動は皆さまからの温かい寄付によって支えられ、院内感染予防活動、移民学校での啓発活動など様々なプロジェクト・設備投資を実施しています。

支援の輪が広がっていけるよう、どうぞ当会の Facebook もフォローして「いいね」や「リツイート」で応援してください。

当会では、都度の支援金の受け入れとともに、「1日10円からの支援」を基本とし、継続的なご支援をお願いする賛助会員制度を用意しております。

【一般会員】3,650円/年 【学生会員】1,825円/年 【法人会員】36,500円/年

当会ホームページにアクセスしていただき、お申し込みフォームから会員登録のうえ、指定の口座へのお振込をしていただきますと、賛助会員として登録させていただきます。詳しくは当会ホームページをご覧ください。





NPO法人メータオ・クリニック支援の会 **Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM)**

日本事務局宛て Eメール	support@japanmaetao.org
JAMウェブサイト	www.japanmaetao.org
Facebook	Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM) で検索して下さい。 https://www.facebook.com/JapanAssociationforMaeTaoClinic/
Instagram	https://www.instagram.com/japan_association_maetaoclinic/
Twitter	https://twitter.com/japanmaetao

※掲載されている全ての内容、文章の無断転載を禁止します。

